

資料3 音更町わたしたちの未来づくりワークショップ

1 音更町わたしたちの未来づくりワークショップの開催について

<開催趣旨>

子どもたちにとって音更町はどのような町としてとらえられているのか、また子どもたちの描く理想の町とはどのような町なのか、子どもたちの視点から検証し、必要に応じ事業計画に反映させることを目的として開催。

(1) 開催日時等

令和元年11月14日(木) 15:40~16:50
音更町生涯学習センター

(2) 参加者

- ・ 町内10校の小学6年生の児童19名
- ・ 進行役4名(子ども・子育て会議委員3名、子ども福祉課主査1名)
- ・ 子ども・子育て会議事務局(4名)
- ・ その他、参加児童の保護者、関係小学校関係者(11名)

(3) 内容

- ・ 参加児童によるグループワーク
テーマ:「おとふけをつくろう ~こんなまちになったらいいな~」
- ・ 「未来のわたしたちへのメッセージ」
メッセージカードに未来の自分へのメッセージを記入し、未来の音更のを考える契機とする。作成したメッセージは、後日、町から児童の保護者へ送付。児童の成長の節目に保護者から手渡してもらい、児童の成長と町の未来について考えていただく契機とする。

2 音更町わたしたちの未来づくりワークショップ開催結果

(1) 子どもたちからみた音更町

音更町のよいところ

産 業



農業・酪農が盛ん
食べ物がおいしい
飲食店が多い
スーパーが多い
温泉がある
お店が1ヶ所に集まっている

自 然

自然が多い
天気が良い
空気がおいしい
景色がきれい

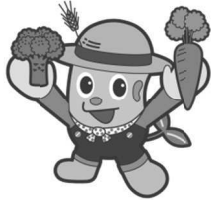


環 境



静かで住みやすい
公園がたくさんある
交通事故が少ない
人がやさしい
ゴミが落ちていない
道路がきれい
都会過ぎず田舎過ぎない

音更町のよくないところ



産 業

お店の場所が偏っている
クーポンなどが届かない
音更産の野菜や畜産品の名前が浸透していない
観光が少ない

自 然



くまの目撃情報が多い

環 境

冬場に遊べる施設がない
公共施設などの使い方やマナーが悪い
交通マナーが悪い
歩道の無い道路が多い
ゴミのポイ捨てが多い
雪や木で交差点の見通しが悪い
あいさつをしない人が多い
不審者情報が多い
事故・事件が多い
横断歩道が少ない
公園の遊具が古い
学校にエアコンがない
街灯が少ない
学校が減っていく
市街地以外では学習塾などで学ぶ機会が限られている

(2) 子どもたちの考える未来の音更町

こんなまちになったらいいな

～安心・安全な町～

事故や犯罪のないまち
道路環境が整えられ、交通ルールが守られるまち

～笑顔のあふれるまち～

楽しく遊べ、そして学べるまち
みんながあいさつを交わし、人間も動物も楽しく暮らせるまち

～誇りを持てる町～

子ども・お年寄りに優しいまち
よその人が来たくなる、音更町の物を欲しくなるようなまち



4 第2期音更町子ども・子育て支援事業計画策定に向けて

(1) 考えられる子ども・子育て支援 ～子どもたちの視点から～

本ワークショップを実施し、子どもたち自身が思う音更町の良いところ、良くないところ、そして、こうなってほしいと考える未来の音更像が明確にされた。

子どもたちの考える音更に近付けるために、現状考えられる子ども・子育て支援策は次のとおりである。

① 安心・安全なまち

- 安全な道路・交通環境の整備
 - ・ 通学路を中心とした道路整備の推進
 - ・ 交通安全対策の推進
- 防犯活動・啓発

② 笑顔のあふれるまち

- 子どもが安全に遊べ、学べる環境の整備
 - ・ 雨天時や冬季でも遊べる環境づくり
 - ・ 学習環境の整備・衛生管理の推進
- 商業活動の活性化
 - ・ 身近なところで買い物できる環境づくり

③ 誇りを持てるまち

- 生活環境の整備
 - ・ 地域コミュニティ活動の充実等による人間関係の構築
- 産業の活性化
 - ・ 「音更町」というブランドの構築

(2) 計画策定に向けて

本ワークショップを通して、子どもたちの視点から考える未来の音更像、その実現に向けて考えられる子ども・子育て支援策等については、可能な限り計画に反映させるものとする。